

(様式1)

太田小磯デイサービスセンター運営推進会議報告書

開催日時	平成28年6月15日(水)15時30分～16時30分	
場 所	太田小磯デイサービスセンター会議室	
	参加者	議 題
利用者	1名	1 報 告
利用者の家族	1名	(1) 施設の現況について
地域住民の代表者、 知見を有する者	1名	2 意見交換
郡山市の職員	0名	
湖南地区地域包括支援センター職員	2名	
事業所	2名	
会 議 録		
1 報 告		
(1) 施設の現況について		
・利用状況 別紙のとおり		
・活動状況 別紙のとおり		
2 意見交換		
(所長)では、意見交換にうつります。(利用者様)の利用状況を報告してください。		
(生活相談員)(利用者様)におかれましては、平成27年2月20日より週1回からご利用されております。利用当初は大変緊張されていまして、職員が頻繁に声かけをしたり同じ地区の方や顔なじみの方とお話しなどができるよう座席に配慮してまいりました。その後は週2回から週3回へ利用も増え周囲の方々ともトラブル等なく楽しく過ごされています。		
(地域住民代表)声かけというのは大事なのでしょうか。		
(生活相談員)声かけは大事です。声かけを密に行うことで緊張もほぐれてきますので初回利用される方は重点的に行っていきます。		
(地域住民代表)(利用者様)はおいくつですか？		
(利用者)88歳です。		
(地域住民代表)お元気ですね。		
(所長)(利用者様)何かご要望はありますか。		
(利用者)ということない。皆職員が跳んであるって大変だ。世話になってありがとう。		
(所長)お風呂はどうですか？		
(利用者)小磯の風呂は温まって、汗が止まらない。シップ貼ってくれたり、よくしてもらってる。		
(所長)自宅での様子はどうですか？		
(利用者様のご家族)デイに行っているときはいいのですが、休んで家に3日もいる		

と「ぼーと」している姿がありました。でも最近ではデイでしている体操を家でも休みなくやっていて、大分汗かきになってきたような感じがします。本人はやっぱり転ぶのが大変だと言いながらも、モップがけや洗濯、洗濯物干しなど、自分のことは自分でするようにしています。しかし年齢とともに腰が曲がってきているので、転ばれると困るからと主人が止めています。

(所長) 何人家族ですか？

(利用者様のご家族) 8人家族です。

(所長) 大家族ですね。何か体操をしていて効果がありましたか？

(利用者様のご家族) (利用者様) の夫が入院した頃から、変な声を出すことが頻繁にありましたが、デイで体操やお話しをすることによって今では変な声も出さなくなってきました。また、食事のときは喉につかえることが多く水を飲みながら食べていましたが、今は喉につかえることがなくなりました。

(所長) 体操なども効果があるということですね。

(地域住民代表) 今はこのようなサービスがあるからいいですね。どんどん利用して行ってほしいと思います。私も親の介護をした経験がありますが、介護疲れで体調を崩したことがあります。一生懸命すると大変です。普通に介護すればいいのですが。介護は先が見えません。見えないだけに大変です。私は民生委員をしていて、色々な家を訪問させていただいています。なかにはデイサービスなど利用したほうがよい方もいますが、お誘いすると「まだまだそんな歳ではない」と話され、サービスに結びつかないことがあります。そして最近多いのが「お金が無いから行けない」と通帳を見せられたりすることです。デイサービスに行ってもらいたくても通帳を見せられると無理にお誘いすることができません。何か良い方法はないですかね。

(所長) デイサービスへ来る方は、最初は喜んで来るような方はなかなかいません。1回利用してみると案外良かったりしてそのまま利用される方が多いです。その1回が大変ですよ。低所得者向けのサービスとなるとどのようなサービスを希望されるでしょうか？

(地域住民代表) お食事や無料で何回かデイサービスを利用できるようにするとかでしょうか。

(所長) そうですね。

(湖南地区地域包括支援センター職員) 今のお話を伺うと、地域の方々と協力して私たちが把握しきれないお宅にも訪問していかねければと感じました。

(所長) 本日は貴重なご意見ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。